

消防団は、いろいろな人たちのチカラで成り立っています。

消防団は、二宮町に「住んでいる」「働いている」人によって構成された消防機関の一つです。

一人ひとりが、それぞれの仕事を持ちながら、“自分たちのまちを自分たちで守りたい”というココロで、様々な活動を行っています。消火活動や救助活動だけでなく、火災を起こさないための広報や、応急手当の知識や技術などをより多くの人に習得してもらうための普及活動など、誰にでもできることがたくさんあります。

“地域のことをよく知っている”消防団は、地域に密着した効果的な災害活動等を行います。

消防団員は、平素は生業を持ちながら火災や災害発生時に、自宅や職場から災害現場に駆けつける非常勤特別職員の地方公務員です。



消防出初式での一斉放水

平成22年1月10日(日) 山西小学校校庭



予防、減災のための消防団 二宮町消防団長 杉崎 一夫

本年1月10日に恒例の二宮町消防出初式を行った所多くの皆様のご参加を頂き盛大に挙げてきました事をまずもお礼申し上げます。

私達消防団は、火災等の実災害が発生した場合は昼夜を問わず現場に駆けつけ防衛活動を行います。しかし、どのような災害であれ限りなくゼロが目標であるはずで、そのための予防、減災活動も消防団の重要な使命と考えています。

私達消防団の活動は、日頃の訓練で消防技術の向上や体力錬成を行う中で、自主防災組織や自治会等と密接に関わりをもつ事、そして消防本部との連携により設置義務期限が近づく住宅用火災警報器設置の普及促進を行う事等についても予防、減災活動の重要な一つの事案だと思っております。

30才から40才代の仕事に家庭サービスにと多忙な年代に消防団員としての活動にあたり、ご家族や仕事先、そして地域の皆様方の深いご理解、ご協力を頂いている事に心より感謝いたしております。

『町の安全安心は自ら守る』の崇高な使命を元に地域貢献や仲間づくりに大変有意義な消防団『参加したい消防団・やっで良かった消防団』を目指し活動してまいりますので、今後とも変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

定期訓練

消防団は、月1回の定期訓練を行っています。



河川への放水訓練（五分団）



ホース搬送（一分団）

火災を想定しての放水訓練のもようです。
有事の際、慌てず確実に水が出せるように操作するためには、基本的な訓練も大切です。
消防の操法等は、それほど難しいものではありません。
放水訓練の他、ホース延長・結合、器具の操作訓練、消防ポンプ車の操作等、さまざまな訓練を行います。

体力錬成大会

消防職団員の体力・士気高揚・親睦を深めることを目的に、毎年実施、ソフトバレー、ソフトボール等を行います。



21年錬成大会優勝：二分団



四分団

研修旅行



淡路島北淡町震災記念公園（五分団）

家族慰安会

ディズニーランド（三分団）



地区防災



どんど焼き警備



団本部



分団長

神奈川県で一番団員数が少ない二宮町消防団
いろいろな人たちのチカラで成り立っています。
私たちは、チカラになれる。



昭和47年2月に二宮町消防本部と消防署が設置されました。

消防本部・消防署

- 消防長
- 消防課
 - 庶務班
 - 警防班
 - 予防班
- 消防署
 - 第1警備隊
 - 第2警備隊

現在、消防職員は、現在44人。警備隊は、2交代制で有事の出動体制をとっています。

明治17年、一色村に私設消防組が誕生。

二宮町消防団

- 団長
- 副団長
- 第一分団
- 第二分団
- 第三分団
- 第四分団
- 第五分団

明治37年 公設消防組を設置（一色、中里、二宮、山西）
昭和12年 二宮消防組に統一。昭和14年 二宮町警防団となる。
昭和23年 自治体消防として消防団を設置。（4ヶ分団）
昭和29年 第二分団区域を2区域に分割、5ヶ分団となり現在に至る。

常備消防（昭和47年2月消防署）が設置されるまで、第一線での活動等、輝かしく永い伝統を持っています。
5ヶ分団で組織され、常備消防の協力機関として消防業務の活動をしています。
定員は、78人。 **消防業務が本職ではありません。**



火災予防運動

防火啓発活動を行っています。

「防災意識を高めるよう」消防車による広報活動・巡回の他、消火栓・防火水槽の点検等を行います。

秋の火災予防運動 11月9日～15日

歳末火災特別警戒 12月25日～31日

春の火災予防運動 3月1日～7日

期間中、「お休み前の火の元点検サイレン」を21時より30秒間鳴らします。
火災が発生しやすい季節(期間)なので、御理解のほど、よろしく願います。

昔の火消し

消防署部隊演技
(平成22年1月10日消防出初式)



「火事だ！」車のない時代は、リヤカーにポンプを乗せ、出動。



電気もない時代、動力は人力。「ヨイショ！ヨイショ！」



纏めがけて放水！水が弱い…。昔の「火消し」は、本当に大変でした。



第一分団車庫が新しくなりました

平成21年2月14日 開所式
第一分団の車庫が老朽化のため、新築されました。



左：新築された第一分団車庫
右：昔の第一分団車庫



消防団員になった自分を想像してみませんか。あなたも、新しい自分、充実した毎日が見えてくるかもしれせん。

消防団員募集

「自分たちのまちは、自分たちで守ろう。」

20代・30代の男子の方で分団活動に協力してくれる方を広く募集しています。より多くの方に消防団活動を経験してもらい、地域防災の一翼を担っていただきたく願います。任期・活動内容等は各分団ごとにこととなります。



公務災害補償制度
被服の貸与
退職報償金
表彰制度

問い合わせ
消防本部 消防課
☎72-0015

- 第一分団 (川匂・釜野・越地・茶屋・梅沢)
- 第二分団 (上町・中町・下町)
- 第三分団 (元町・富士見が丘1・2・3丁目・松根)
- 第四分団 (中里・百合が丘1丁目)
- 第五分団 (一色・緑が丘・百合が丘2・3丁目)

消防団は、通常は自らの仕事を持ちながら、「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護の精神に基づき、地域の人たちのため、社会のために活躍されている人たちの集まりです。